

2 地域社会との連携体制の充実

地域教材を生かした授業作り

本校の特色の1つとして、多数の地域の方が学校を支援してくださり、生徒と共に活動していることが挙げられる。そこで、地域の先人や地域人材を教材として取り上げ、身近な人々の生き方や考え方に触れることができる教材を作成した。生徒が自分のこととして、郷土を愛する態度や社会の一員としての自覚を高めるのに有効であった。

〈地域の方による学校支援〉



学校支援ボランティアと一緒に梅の実収穫



親父の会による池掃除



図書ボランティアによる昇降口飾り付け

(1) 【自作教材】第1学年『“折り紙”から“ORIGAMI”へ 創作折り紙作家 吉澤章』 主題名 よりよく生きるには(A-4 希望と勇気 克己と強い意志)

上三川町は、創作折り紙の世界的先駆者である吉澤章氏の生誕の地である。吉澤氏の生き方を読み物資料として作成し、その努力や強い意志について学ぶ学習を取り入れた。吉澤氏の生き方を通して、目標や希望をもって生きることが日々の生活の充実に繋がることに気づくことができた。



教材開発のため、「吉澤章折り紙ギャラリー」を訪問し、吉澤氏の生涯や作品の取材を行った。

収集した情報を基に、読み物教材を作成した。

当初「郷土愛」の資料を作成する方向で検討していたが、吉澤氏の力強い生き方から学ぶものが大きいと考え、「努力と強い意志」の教材を作成することとした。



吉澤章氏の折り紙による自画像



〈生徒の声〉

- 自分の好きなことややりたいことは全力で楽しんで、一生の宝物にしたい。
- 吉澤さんのように、高い目標を常にもち続けて、一つのことに全力で取り組みたい。自分のため、人のために尽力したい。
- 私も住んでいる上三川町に少しでも恩返しができる人になりたい。

〈先生方の声〉

- 教材を一から作るのはとても大変だったが、上三川町に住む生徒たちが自分のこととして捉えられるような授業作りに真剣に向き合うことができた。
- 上三川町に関わる人物だから、生徒たちも強い関心をもって授業に取り組んでいた。